

こんにちは いつもお世話になっております
三栄です

新年明けまして

おめでとうございます
本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます

お願い申し上げます

株式会社三栄サービス
代表取締役 紺野 琢生

● 昨年を振り返り...

令和四年は出口の見えないコロナ禍三年目という中で、二月には平和の祭典の最中にロシアによるウクライナ侵攻が始まり、世界経済が大混乱を招いた年となりました。コロナもウクライナ侵攻も出口が未だ見えないまま新年を迎え、資源物の発生減少、社員の世代交代、原燃料の高騰やインボイス制度の開始など、弊社も様々な局面に対応していかなくてはならない年となっています。社員一同、知恵を絞りながら、何とか乗り切って参

第78号

発行元



株式会社三栄サービス

発行人 紺野 琢生



りたいと考えております。今年こそは、コロナを気にせずに暮らせる普段通りの生活が戻り、悲惨な戦争が集結し世界経済も落ち着きを取り戻し、皆様の生活も再び豊かになりますよう心から祈念しております。

● 環境に優しい新素材・複合素材

さて、先日東京ビッグサイトで開催されたエコプロダクツ二〇二二に行つてまいりました。およそ五百の企業や団体等が出展し、環境、リサイクルに関する学術研究や新素材、新技術などの発表、展示を行っていました。SDGs、サーキュラーエコノミー、エシカル消費などのキーワードがどの展示でも見られました。興味深い展示が数多くある中で、やはり気になつ

たのは、環境にやさしいと謳っている複合素材、新素材のブームでした。古紙やプラスチックという単一素材であれば、既存のリサイクルルートで再生利用が可能ですが、古紙やプラスチック、植物由来の素材などを配合した複合素材は、リサイクルが困難です。以前にも取り上げたことのある石灰石由来の新素材も、紙やプラスチックの代替素材として売り出していますが、古紙としても廃プラスチックとしてもリサイクル出来ずむしろ禁忌品となつてしまいます。見た目には区別がつかないのに、市民の皆様が正確に分別するのは不可能です。私達業者が選別するのにも至難の業です。

悪者になつてるプラスチック、廃材を活用した新素材、

クに何かを混ぜた複合素材の方が、環境問題のトレンド的にはもてはやされるのか、現実的に研究開発予算がつきやすいのでしょうか。ですが、リサイクルの立場からすれば、単一素材で何度でもリサイクル出来ること、既存のリサイクルルートに載せて循環出来ることこそが真に環境にやさしい製品だと考えます。

ブームの担当者の方に、こうした話をしたところ、『そういう視点もあるんですが、貴重なご意見ありがとうございます。』とのことで、正直リサイクルのことまでは考えていないようでした。リサイクルしづらい新素材が次々に生みだされることのないように私達も声を上げていきたいと思えます。

●もつとリユース、リサイクルを広めたい

そして、古紙、古着、金属類だけでなく、有価で取引が可能でリユースやリサイクルが出来るも

の取扱品目として増やしていきたいと考えております。今後とも三栄サービスをどうぞよろしくお願ひ致します。

集団回収団体表彰

東村山市・五光自治会様

公益財団法人古紙再生促進センターで毎年行われている集団回収団体表彰に、今年も弊社から推薦させて頂きました。

この表彰は、基準となる活動年数と回収量を満たしている集団回収団体を古紙問屋からの推薦を受けて表彰する制度です。弊社では、回収量が年々減って行く中で、長年頑張つて頂いている団体の皆様を今後も応援していきたいと思えます。皆様頑張つてまいりましょう。



表彰式が中止のため、副会長様のご自宅前にて。撮影時のみマスクを外しました。